



NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

ソーシャルビジネスで組織の枠にとらわれず社会課題の解決に取り組もう！

社会課題の解決のためには、NPOや企業の枠にとらわれず、“ソーシャルビジネス”的なアプローチで、取り組むことが有効です。今年度、第3回交流事業では、“ソーシャルビジネス”を使った具体的な社会課題解決活動について意見交換しました。

◆登壇者/登壇団体

- ・市川 加奈 氏 (Relight株式会社 代表取締役/株式会社ボードレス・ジャパン)
 - ・ニーリー 美穂 氏 (認定NPO法人シャイン・オン・キッズ 事務局長)
 - ・岡本 圭子 氏 (日本政策金融公庫新宿支店 国民生活事業融資第五課長)
- ### ◆ファシリテーター
- ・嶺村 富士雄 氏 (一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会)

◎事例紹介①市川 加奈 (いちかわ かな) 氏

高校2年生の時、ホームレスと言われる人に初めて出会ったことから、大学で貧困問題を学びました。卒業後、ボードレス・ジャパンに入社、ビジネスの経験とソーシャルビジネス (SB) の基礎を学び、2019年にホームレス問題の解決に取り組む会社Relightを設立しました。

ボードレス・ジャパンはSBに特化した会社として設立され、現在は「社会の課題をみんなの希望に変えていく」ことを目指しています。SBとは「社会問題を解決するために寄付金などの外部資金だけに頼らず、継続的に収益を上げ、さらに新たな社会価値を生み出す事業のこと」で、社会性・事業性・革新性で事業の価値を評価しています。事業目的を社会問題解決としていることが普通のビジネスとの違いです。

Relightは「いえとしごと」と「こしつ」の2つの事業を行っています。当事者インタビューでは、働いて自分の生活を立て直したいという人が多くいました。この気持ちを大事にできれば早期に課題を解決することができると思いました。

「いえとしごと」は求人サイトと人材紹介です。各人の事情（携帯がない、住所がないなど）で選べるようにしてあるので、安心して応募できますし、採用する側も様々な人にアプローチできます。「こしつ」は住まいの世話です。仕事はしているが身分証がない、滞納歴があるなどで借りづらい人、就職した後に元の状態に戻ってしまう人もいます。関係が途切れないようにするため、住まいの世話＝家賃収受の関係を作ります。

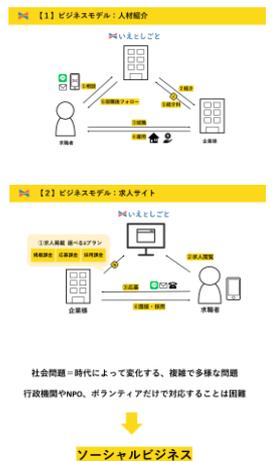
一方で、人間関係づくり等ビジネスだけでは難しい部分もあり、NPOとの連携や事業で出来ない部分はNPO化することも考えています。ホームレスの問題は色々な課題が関わっています。ボードレス・ジャパンでは色々なことができると思い、一緒に事業を進めています。

◎事例紹介②ニーリー 美穂 (にーりー みほ) 氏

「子どもとご家族を心のケアを通じてサポートする」をミッションに、主に小児がんと重い病気の子どもの支援を行っています。小児がんは治る病気になっていますが、強い治療、長い入院期間、治った後の健康障害や就学、就労の問題もあります。入院すぐから支援をしてレジリエンス (回復力) を高めることを目指し、生活の質の向上・勇気づけ・教育の機会均等のため5つのプログラムを実施しています。



市川氏



ニーリー氏

現在、収入の内訳をみると、寄付金が7割強、支出ではファシリテッドッグ (FD) 事業が4割です。2015年以前は寄付金と助成金だけでしたが、活動を持続的にすることを考えた結果、サービスの対価は頂くととなり、少しずつ事業収益を増やしてきています。

FDは特定の施設に常勤して職員の一員として活動する犬のことで、アメリカでは2000頭いますが、私たちはまだ4チーム (FDとそのハンドラーである看護師) です。手術や検査に行く子どもに同行して、不安や痛み等を和らげる役割をしています。

寄付モデルから共同事業モデルに向かってだけでなく、ソーシャルビジネスの要素を加えるよう事業の仕組みの改善に取り組んできました。病院とは、ハンドラーの人員費やFD関係経費を病院が、犬の輸入・養成やボランティア、バックオフィスの経費を私たちが負担するという住み分けをしつつあります。企業から寄付金を受けますが、コラボレーションして情報発信することで企業にもメリットがあるようにしています。企業や他団体とも一緒にやれば全国に広がると思っています。

◎事例紹介③岡本 圭子 (おかもと けいこ) 氏

日本政策金融公庫(日本公庫)の国民生活事業では、中小零細企業やNPOを担当しています。小口の無担保融資が主体ということが特徴の1つで、SB支援も重点としています。

SBとは「地域や社会が抱える課題の解決をミッションとして、ビジネスの手法を用いて取り組むもの」です。一般のビジネスが利益の追求が目的であるのに対して、SBはミッション(使命) = 社会課題の解決の達成が目的で、利益はその資金の捻出の手段です。

日本公庫はSBを、①NPO法人が行う事業、②介護・福祉事業、③社会的課題の解決を目的とする事業で捉えています。①～③に当てはまるとSBの制度を適用します。実際の融資では別の制度が使えることも多くあるので、相談することが大事です。

SBの融資の具体例をひとつ紹介しますと、障がい者の方が着やすく、着たいと思える服も作ることで、障がい者やその家族を支援している事業があります。SBの方向けのSB情報局が日本公庫のHPに載っていますので参考にしてください。

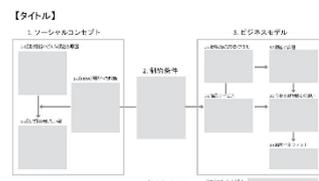
◎トークセッション/交流タイム



トークセッションの様子①



トークセッションの様子②



ビジネスモデル・シート



ファシリテッドッグとはある特定の施設に常勤し、職員の一員として活動する犬のこと。医療施設、特別支援学校、裁判所などで活躍。



岡本氏



(質 問) ボードレスジャパンには「ソーシャルビジネスの設計図」ともいえるシートがあり、NPOでも役立つものだと思います。このシートは、ソーシャルコンセプト、制約条件、ビジネスモデル、ソーシャルインパクト (SI) の4つから構成されています。制約条件とSIとは何でしょうか？

(市 川) 制約条件は、事業が支援を届けたい人から離れていかないように明確にするものです。どうしても守らなければいけない条件とも言えます。SIは社会課題の解決に向けての事業の成果が他の人にわかる指標、何が変わったのかを示す指標です。

(質 問) SIにはどういう数字が示されていますか？

(市 川) 仕事の紹介の場合、紹介した、就職した人数などですが、表面的な数字だけではわからないこともあるのが悩みの種です。

(ニリー) 私たちの場合も、終末期のお子さんへの対応など数字だけでは評価できない部分があります。

(岡 本) 色々な数字を見ますが、数字に加えて代表者等から話を聞くことで理解が深まります。

(質 問) 事業と収益性についてどのように考えていますか？

(ニリー) 収益は目標にはしていませんが、事業モデルはすごく考えています。寄付は不安定で、企業等の方針でガラッと変わることがあります。

(質 問) ビジネスとソーシャルのバランスで意識していることはありますか？

(市 川) 難しい問題です。ビジネスに寄りすぎると普通の事業になって、大事にしないといけないう人を切ることになります。SBを始める時にはフレームを作ります。一番初めにソーシャルコンセプトという「誰のために」から始めます。事業がぶれそうになった時にはそこに戻ります。事業を始めるきっかけになった課題のためになっているか、単に利益追求していないかなどです。

聴かせて
NPO!

※ちよつと気になるNPO団体を紹介します※
《NPO法人 市民科学研究室》
～科学・技術に市民の思いを生かしたい～

いろいろな領域で「生活者にとってよりよい科学技術とは？」を考え、そのアイデアを実現していくことは、エネルギー、食料、住まい、交通や通信、医療、環境といった様々な問題の解決に繋がります。市民科学研究室は、市民の問いかけから出発し、市民が主体となった調査を進めることで、その実現を目指しています。

♪当センターで行われる「第187回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪
開催日時：2025年2月13日(木)18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)
語り手：NPO法人市民科学研究室 代表理事
上田 昌文 氏
参加費：無料

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会
【電話】03-5206-6527
【E-mail】hiroba@s-nponet.net
後援：新宿区

申込みは
こちらから



NPOのためのホットな助成金情報

分野	助成金名	団体名	概要	助成金額	申請時期	QRコード
福祉	地域福祉振興助成	(公財) 木口福祉財団	障がい者等を支援する福祉活動やボランティア活動に取り組む団体・グループへの助成	100～200万円	1/15～2/25	
子ども	児童養護施設等助成金	(公財) こどもの未来創造基金	児童養護施設での設備等の購入や活動の費用の助成	上限100万円	1/1～2/28	
国際協力	多文化共生地域ネットワーク支援事業助成	(公財) かめのり財団	アジア・オセアニア出身者を対象に日本に暮らす外国人が抱える課題などの解決に向けた取組みをしている非営利団体、個人への助成	上限150万円	1/15～2/20	
福祉	杉浦地域医療振興助成(研究分野)	(公財) 杉浦記念財団	医療従事者、介護福祉従事者が連携して行う「地域包括ケアの実現」、「健康寿命の延伸」に寄与する研究への助成	200万円	1/1～2/28	
教育	伴走型就学・学習支援活動助成	(公財) 榎の芽会	非営利活動として、高校・大学、専門学校等への進学・卒業を支援する学習支援活動を行う団体への助成	30～300万円	1/14～3/7	

新宿区民活動支援サイト“キラミラネット”をご利用ください

新宿区を拠点に行われている地域活動や社会貢献活動、趣味、サークル活動など、身近な地域活動の情報を一堂に集め発信するWEBサイトです。WEB会員を募集しています(登録料は無料です)。

【問合せ】新宿区地域振興部 地域コミュニティ課 【TEL】03-5273-3872 FAX: 03-3209-7455



<https://shinjuku.genki365.net/>

センターからのお知らせ

講座

『ファシリテーション講座（実践編）』

～みるみる発言が増え、みんなが納得できる「場」づくりを学ぼう！～

【日時】2/22(土) 13:00～17:00

【内容】多様な人々が参加する話し合いや、スムーズな組織運営の進行を促していく為の話し合い等に必要
「安全・安心な」場づくりと、「参加者の自由な対話」を生み出しながら協働を促進する方法を学びます。

【講師】長畑 誠 氏(明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科長・教授)

【会場】当センター 501会議室

【参加費】2,000円(資料代等)

【定員】会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名

【申込フォーム】

《オンライン参加用》

《会場参加用》



交流事業

『NPO×プロボノ×新時代』

～スキルや共感をもって社会課題解決のための活動に参加してみよう！～

【日時】2月8日(土) 13:30～16:30

【内容】社会課題の解決に貢献したいという理由に加え、自身の活動の場を増やす、スキルを磨くという視点からプロボノ活動
に取り組む人は少なくありません。近年の社会的傾向として、「スキル」はもちろんのこと、「共感」が大切な要素になって
います。登壇団体から新しい時代に向けてのプロボノ活動についての具体的な事例紹介および、今後の展望等ついで
の議論を深めます。

【会場】当センター 501会議室

【対象者】NPOの活動に実際に取り組んでいる方・興味のある方。
プロボノの活動を実際に行っている方・興味のある方。

【参加費】無料

【定員】会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名

【申込フォーム】

《オンライン参加用》

《会場参加用》



※詳細はHPにてご確認ください

★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきまし

ては、当センターHPをご参照ください。【URL:<https://snponet.net/>】

情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315

FAX : 03-5386-1318

E-mail : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>

アクセス

〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)

- 各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車 (乗車時間10分前後)
西口地下より標柱番号12・14を上がった乗場から出るバス (すべて)
- 各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋(郵便局前)」下車
(乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

- 東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
- JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線
東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立新宿NPO協働推進センター

指定管理者：一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)

編集：嶺村 富士雄 林 幸靖 月岡 英人 國府田 明子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。